

2026年3月26日

各 位

J X 金属株式会社

ひたちなか新工場開業式の実施について

J X 金属株式会社（社長：林陽一、以下「当社」）は、茨城県ひたちなか市での新工場の開業にあたり、3月26日に同工場および同市内のホテルにおいて式典を執り行いました。

当社は、2022年3月に同市で大規模用地を取得して以降、半導体分野をはじめとする先端材料の新たな中核拠点とするべく、新工場の建設を進めてまいりました。2025年7月にはリサイクル物流センターの稼働を先行して開始しており、このたび半導体用スパッタリングターゲットの生産設備の一部が試運転を開始したことから、開業式の開催に至ったものです。同拠点は、日立地区、磯原地区に続く茨城県内第3の主力拠点であり、新たな国内主力拠点の開設は、1985年の磯原工場開業以来、約40年ぶりとなります。

式典には、大井川和彦茨城県知事、大谷明ひたちなか市長をはじめ、多数の地域関係者、建設関係者など約160名にご出席いただきました。式典では、当社社長の林より「新工場の立ち上げにあたり、茨城県ならびにひたちなか市をはじめとする関係機関の皆さま、建設・工事に携わってくださったパートナーの皆さま、そして日頃より当社事業を支えてくださっている地域、お取引先の皆さまより、多大なるご理解とご支援をいただいた。改めて深く感謝申し上げます。新工場は、当社の事業成長に資する重要拠点であると同時に、この地域の産業基盤の一翼を担う存在となることを目指している。これからも、地域の皆さまと共存し、雇用の創出や人材育成、関連産業との連携を通じて、持続的な地域発展に貢献していくことが、私たちの重要な使命であると考えている。」と挨拶いたしました。続いて大井川知事および大谷市長よりご祝辞を頂戴いたしました。

足元、AIデータセンター用途における先端ロジック半導体や先端メモリ半導体（HBM等）の需要が急速に拡大しており、この先も中長期的な成長が見込まれています。新工場では、今後の半導体用スパッタリングターゲットの需要拡大に柔軟に対応できる供給体制の確立はもとより、研究開発の推進や新規事業の創出を通して、世界の先端半導体サプライチェーンにおけるプレゼンス強化を図っていく予定です。また、ひたちなかは日立・磯原両地区から距離が近く、本社へのアクセスも良好なことから、これら拠点との一体運営が可能になります。拠点所在地の枠にとらわれず茨城県の県北・県央地域全体を俯瞰した事業運営を行い、拠点間の連携をさらに強化していきます。

今後も当社は、「2040年J X 金属グループ長期ビジョン」で掲げる「技術立脚型企業」への転身に向けた施策を推進し、先端素材で社会の発展と革新に貢献するグローバル企業を目指してまいります。

以 上



記念撮影



挨拶を行う林社長



テープカットの様子



パーティーの様子



ひたちなか新工場外観写真